

事例から学ぶ！！！

“できる”を引き出す・拡げる支援

～その子に適した構造化を使って～

皆さん、よろしく！

川崎医療福祉大学の諏訪准教授に  
お越しいただき、様々な事例に対し  
助言をいただきました！  
その内容を事例ごとにご紹介します！



今回のテーマは…

# 苦手なことへの取り組み方

について





感覚過敏があるため、帽子を被る、  
マスクを付ける、歯磨きをする等に  
強い苦手意識があります…



## チェックポイント

- ①苦手なことに対して、日頃から取り組んでいることはありますか？
- ②苦手なことに取り組む際に行っている状況づくりや支援はありますか？

アセスメント  
してみましょう！





- ①マスクは給食当番の時に付ける練習を行い、歯磨きは食後に行います。帽子はランニングを行う時に被ります。マスク・歯磨きは毎日行いますが、帽子を被る頻度は週2回程度です。
- ②指導者が本人の目の前で実際に見本を見せてから取り組むようにしています。

アセスメントの  
結果から  
考えられること！



# 超スモールステップで取り組んでみよう！

・最初は、「ちょっと当てる」程度から始めてみる。1秒くらいだけでも良い。そこから少しずつ積み上げていく。

＜例＞

\*朝の自由時間の前に、1秒だけ頭に帽子を乗せる

\*給食当番の時に、5秒だけマスクを口に当てる

\*食後に、左右の奥歯に3回ずつだけ歯ブラシを当てる

※見通しが持てないことで余計に過敏になってしまう。

見通しと行動をセットで視覚的に伝えると効果的！



# 超スモールステップで取り組んでみよう！

- ・見通しを持つと、苦手な事に取り組みやすくなる。  
→ただし！！この時に  
「もう少し長く続けられるだろう！」と  
勝手に延長するのは裏切り行為になる。  
子ども達の拒否反応を強化する可能性が…
- ・最初に約束した時間になつたら、指導者から終える  
ように促すくらいがちょうど良い。

特に自閉症支援では  
「契約を守ること」が  
重要です！！



苦手なことに取り組む際には…

・超短時間から始める

・最初の約束は必ず守る

ちょっと出来たからといって欲張るのは厳禁！





皆さんいかがでしたか？

特別支援の現場では、「できる」や「得意」に注目して活動や取組を考えることが基本になりますが、こんな風に少しずつ「苦手」にも取り組んでいけると、ステキですね！  
(※くれぐれも無理強いにならぬよう、ご注意を！)

次回は活動や気持ちの「スケジュール」について、お伝えいたします！お楽しみに♪